

# わくわく本だな 12月号

富山市立図書館

## 今月のおすすめ



= 1・2年  
= 3・4年  
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -



「なんでもふたつ」 (えほん) リリー・トイ・ホン/作 評論社

ハクタクおじいさんが庭をたがやしていると、古いかめができました。それは、中に入れたものが、なんでもふたつになるという、ふしぎなかめでした。きんかを入ると二倍にふえて、お金もちになりましたが...

「耳かきのすきな王さま」 小園江 圭子/作 講談社

人の耳をかくのが大すきな王さまがいました。あんまり耳をかきすぎて、けらいたちの耳にあながあき、はなしかけても、声が通りぬけてしまします。王さまのめいれいもわからず、みんな大よわりです。



「<sup>がくえん</sup>モンスター学園 <sup>テレビ</sup>・デビューは大さわぎ」

舟崎 克彦/作 ポプラ社

ドラキョンたち<sup>がくえん</sup>モンスター学園のみんなは、テレビ局にさそわれて<sup>とかい</sup>都会に行くことになりました。<sup>とうめいじんげん</sup>透明人間のミス・ミストの心配をよそに、<sup>ちやうじんきばんぐみ</sup>ガイコツ校長とみんなは心ウキウキで、<sup>なましゅつえん</sup>超人気番組「朝からテレビ」に生出演します。

「<sup>けいご</sup>子どものための敬語の本 1 きほんのあいさつ」

ながた みかこ/作 汐文社

<sup>はじ</sup>初めて会った人や、<sup>めうえ</sup>目上の人と話すときは、<sup>けいご</sup>敬語を使いますね。敬語は、<sup>そんけい</sup>尊敬や<sup>かんじや</sup>感謝の心を表したていねいなことばです。じょうずに使えばみんな気分がよくなり、なかよくすごせるようになります。



# あたらしくはいった本

## えほん

「**ぼくのかわいくないいもうと**」 浜田 桂子/作 ポプラ社  
ぼくは2年生。1年生のいもうとがいるけれど、おしゃべりで、でしゃばりで、ぜんぜんかわいくありません。つきまとわれて、ほんとうにめいわくです。いもうとなんか、いなけりゃいいのに！



## ものがたり

「**びゅーん！ こがらしーごう ~ミナモとキースケのたからさがし~**」

長崎 夏海/作 ポプラ社

キースケが「ちきゅうって、いつかほろびるんだよ」と、おちこんでいました。だけどミナモは、「今しか歩けないちきゅうを、たんけんをしよう」といいます。さっそく、こがらしのふくさむい日、二人はとなり町へたんけんに出かけました。



「**よこづなになったクリの木**」

稲本 昭治/作 文研出版

ヤスシは、クリの実を<sup>み</sup>とろうとして目にけがをしました。そのせいで、クリの木を切ってしまうおうという話もちあがります。でもヤスシは、思い出のある木を、<sup>まも</sup>ぜったいに<sup>けっしん</sup>守ろうと決心しました。



「**いたずら<sup>まじょ</sup>魔女のノシーとマーム 秘密の呪文**」

ケイト・ソーンダズ/作 小峰書店

<sup>まじょ</sup>魔女のノシーとマームは、大のなかよし。いたずらしすぎて、<sup>まじょ</sup>魔女の女王をおこらせ、<sup>ついほう</sup>追放されてしまいます。人間の町にたどりついた二人は、<sup>とう</sup>教会の塔にすみつきますが、そこにはおそろしい<sup>かせいふ</sup>家政婦がいました。



「**三人<sup>さんそんりゅうがく</sup>だけの山村留学**」

中山 聖子/作 学研

<sup>とかい</sup>都会でくらしていた五年生<sup>けい ゆういち ゆり</sup>の圭と友一、有里の三人は、それぞれに<sup>かてい</sup>家庭の事情があり、夏休みに山村留学をすることになりました。いなかの生活にとまどいながら、<sup>じもと</sup>地元の子もたちとすごすうち、心のきずが、いやされていきます。



## ちしきの本



「はばたけ!先生」 くさば よしみ/作 フレーベル館  
学校には、たくさんの先生が働いています。先生の仕事は、  
教室で勉強を教えること。でも本当にそれだけでしょうか?  
放課後の先生の仕事や、先生になる方法がわかります。

「落ち葉」 平山 和子/作 福音館書店

色づいた木の葉が、一まい一まい ちりはじめました。落ち葉は緑色  
から茶色や、赤や黄へとかわっていきます。木の種類や場所によって、  
色も、もようもちがいます。いろいろな落ち葉の写真が美しい本です。



## 冬の遊びの本

さむくなると、室内で遊ぶことが多くなりますね。友だちやかぞくで  
こんな遊びを楽しんでみてはいかがでしょうか!

「おてだまのたね」(えほん) 織茂 恭子/作 福音館書店

近所のおばあちゃんにももらったお手玉で、子どもたちが遊んでいると、  
おやおや、ぬいめがほころびて中身がとび出してきましたよ。



「先生も親も子どももできる びっくり手品あそび」

三宅 邦夫/作 黎明書房

身のまわりの道具でできる楽しい手品がいっぱい!  
かんたんそうでもずかしかったり、その反対だったり。

「なんにもなくても ~ことばあそび絵本~」 織田 道代/作 福音館書店  
十二しゅるいのことばあそびがのっています。しりとりの反対の「あたまとり」  
って、知っていましたか? さあ、あなたもちょうせんしてみましょ。



「遊び 日本人の20世紀・くらしのうつりかわり」

梨岡 基雅/作 小峰書店

百年前は、どんな遊びをしていたのかな? みんなで工夫して、  
楽しく遊んでいたようです。今では、ひとりでテレビゲームを  
する子どもがふえ、遊びもずいぶん変わりました。



# 12がつのこよみ

十二月は一年のおわり、冬のはじまりです。  
そして、クリスマスやもちつきなど、たのしい行事がたくさんある月です。  
かぜをひかないよう、元気に一年をしめくくりましょう。

## 《 きょうは何の日？ 》

12月1日 **お年玉つきねんがはがき**  
のはじまりの日（昭和24年）

12月12日 **「がくもん学問のすすめふくざわゆきち」**を書いた  
**福沢諭吉**のうまれた日  
しょうぞうが一万円札に肖像画があります。

12月22日 **冬至**



一年中で、いちばん ひるのみじかい日。  
この日、ゆずぶろに入ったり、かぼちゃを  
食べると、かぜをひかないといわれています。



12月25日 **クリスマス**

「**アルプスの村のクリスマス**」  
舟田 詠子 / リプロポート

「**サンタクロースってほんとにいるの？**」  
てるおか いつこ / 福音館書店

「**クリスマス・キャロル**」  
ディケンズ / 岩波書店



12月31日 **大みそか**

一年のほこりをはらい、年こしのじゅんぴをします。

## 図書館しょうかい!

### - 山田図書館の巻 -



うしだけ牛岳スキー場へいくとちゅうに、やまだこうみんかん山田公民館があります。  
その2かいにあるのが山田図書館です。ひとつのへやの中に  
本だなもカウンターもえつらん席もある、小さな図書館です。

さいきんもようがえをして、本をゆっくりさがすところと、  
じっくり読むところに分けてみました。

大きなまどからは、たき滝や山々が見えて、とてもきれいです。  
ここで本を読んで、ゆったりとすごしてください。



編集・発行 富山市立図書館 富山市丸の内1丁目4-50  
電話 076-432-7272